

■研究推進委員会 2024 年度 活動報告書

提出日：2025 年 3 月 6 日

名 称	生態工学 研究推進委員会
委員長	氏名（所属）：大澤啓志（日本大学）
幹 事	氏名（所属）：徳江義宏（鹿島建設（株）） 連絡先（e-mail アドレス）：tokue@kajima.com
その他 構成員	氏名（所属）： 板垣範彦（いきものランドスケープ）、井上剛（（株）エスアイエイ環境事務所／（株）地域環境計画）、岩崎哲也（淡路景観園芸学校／兵庫県立大学）、裏戸秀幸（横浜市）、大澤啓志（日本大学）、勝野武彦（日本大学 名誉教授）、亀山章（東京農工大学 名誉教授）、倉本宣（明治大学）、黒田貴綱（日本大学）、園田陽一（国際産業技術専門学校）、趙賢一（（株）愛植物設計事務所）、中村忠昌（東京いきものラボ）、春田章博（春田環境計画事務所）、日置佳之（鳥取大学 名誉教授）、前田瑞貴（箱根植木（株））、宮本渉（平成建設（株））、森本幸裕（京都大学 名誉教授）、養父志乃夫（和歌山大学）、八色宏昌（景域計画（株））、渡邊敬太（大成建設（株））
今年度 活動報告 成果	<p>1. 「生きもの技術ノート」および「用語解説」の企画編集 月に1回の研究推進委員会を開催し、学会誌に連載中の「生きもの技術ノート」（年4回）および「用語解説」の企画立案、編集作業を実施し、学会誌に「生きもの技術ノート」を年4回連載した。テーマは「地上営巣性鳥類の巣を捕食者から守る保護柵の開発」、「DNA 解析技術を利用した国内移入両生類の移入元推定」、「バイオリジカル・ソイル・クラストの効果・機能とその活用」、「ティーバッグを用いた土壌の有機物分解能力の簡易的な測定手法」である。同時に用語解説として「生態系エンジニア」、「指定管理鳥獣」、「公園緑地工事積算体系「緑地育成」」、「生物多様性増進活動促進法」を掲載した。</p> <p>2. 2024 年度全国大会ミニフォーラムの開催 2024 年度日本造園学会全国大会において 2024 年度全国大会ミニフォーラム「自然共生サイトと造園の関わり」を開催した。</p> <p>3. 2025 年度全国大会ミニフォーラムの企画立案 2024 年度に引き続き、2025 年度日本造園学会全国大会ミニフォーラムの開催を目指し、テーマ「東京における 100 年間の生物相変化と回復への展望」を企画し応募した。</p> <p>4. 生物多様性技術指針 生物多様性技術指針の出版に向けて執筆を行った。</p>